



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年10月28日

上場会社名 ホクシン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7897 URL <https://www.hokushinmdf.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高橋 英明
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理部長（氏名） 池本 輝男（TEL）072-438-0141
 四半期報告書提出予定日 2022年10月31日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第2四半期の業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,631	—	475	—	477	—	346	—
2022年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年3月期第2四半期	12.21		—					
2022年3月期第2四半期	—		—					

（注）2022年3月期第2四半期は四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	14,583	5,760	39.5
2022年3月期	13,604	5,535	40.7

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 5,760百万円 2022年3月期 5,535百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期（予想）			—	—	—

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の期末配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,700	27.1	570	30.5	560	25.0	390	3.4	13.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期の業績予想につきましては、好調に推移した上期の業績に加え、足元の状況を踏まえた下期の販売状況、原材料費及びエネルギー費の予測を考慮し修正しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期2Q	28,373,005株	2022年3月期	28,373,005株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	20,647株	2022年3月期	20,583株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期2Q	28,352,385株	2022年3月期2Q	28,352,499株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が段階的に緩和され、社会経済活動の正常化が進んでまいりましたが、新たな変異株の流行による感染再拡大の影響に加え、長期化するロシア・ウクライナ情勢等、国際社会の混乱により原材料費やエネルギー費が高騰し、日米の金利差が拡大したことにより急激に円安が進行しました。

当社と関係の深い住宅業界におきましては、政府による住宅取得に伴う補助金や減税などの優遇支援策の延長や住宅ローン金利が低水準で推移する中、新設住宅着工戸数は、資材価格の高騰による住宅価格の上昇及び住設機器の納期遅れにより、5月以降は伸び悩み、4月から8月累計で前年同期比1.0%の減少となりました。

当第2四半期累計期間の当社業績につきましては、国内の新設住宅着工戸数が伸び悩んだものの、昨年来続いていた船不足と入荷が滞っていた輸入MDFの代替需要等により、構造用途をはじめ、主力の建材用途及び、フロア一基材用途の販売はいずれも好調に推移しました。また、原油価格と連動するエネルギー費及び接着剤費は大幅に上昇してきましたが、生産性の向上と生産量の確保及びコストダウン等により売上原価上昇を抑え、販売価格への転嫁により収益を確保することが出来ました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は66億31百万円、営業利益は4億75百万円、経常利益は4億77百万円、四半期純利益は3億46百万円となりました。

なお、当社は、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間との比較・分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前事業年度末に比べて9億95百万円増加し、84億35百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて16百万円減少し、61億47百万円となりました。これは主に投資有価証券の減少によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて9億79百万円増加し、145億83百万円となりました。

②負債

流動負債は、前事業年度末に比べて7億77百万円増加し、61億70百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて22百万円減少し、26億52百万円となりました。これは主に繰延税金負債の減少によるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて7億54百万円増加し、88億23百万円となりました。

③純資産

純資産は、前事業年度末に比べて2億24百万円増加し、57億60百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

(キャッシュフローの状況の分析)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、16億84百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、2億7百万円となりました。主な増加要因は、税引前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加、割引手形の増加によるものです。主な減少要因は、売上債権の増加と棚卸資産の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用した資金は、94百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用した資金は、1億3百万円となりました。これは主に配当金の支払によるものです。

なお、当社は、前第2四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間との比較・分析は行っておりません。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

住宅業界におきましては、政府の各種住宅支援策を背景に在宅勤務の定着に伴う住環境改善ニーズ等あるものの、原油価格や円安による原材料費及びエネルギー費の上昇が住宅価格を押し上げ、新設住宅着工戸数へ影響を及ぼすことが懸念されます。このような変化の激しい状況下において、一層の効率的な生産及び品質改善を推し進め、引き続き数量、価格ともに安定して市場に供給できるよう努めてまいります。

なお、当社の通期業績予想につきましては、好調に推移した上期の業績に加え、足元の状況を踏まえた下期の販売状況、原材料費及びエネルギー費の予測を考慮し修正しております。

2023年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 13,500	百万円 510	百万円 490	百万円 340	円 銭 11.99
今回修正予想(B)	13,700	570	560	390	13.76
増減額(B-A)	200	60	70	50	-
増減率(%)	1.5	11.8	14.3	14.7	-

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,674,079	1,684,230
受取手形及び売掛金	2,138,719	2,640,969
電子記録債権	1,566,713	1,451,823
商品及び製品	725,970	1,078,885
仕掛品	329,988	351,086
原材料及び貯蔵品	951,796	1,139,323
その他	52,589	89,280
流動資産合計	7,439,857	8,435,599
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	1,684,051	1,702,682
土地	3,194,589	3,194,589
その他（純額）	674,490	649,390
有形固定資産合計	5,553,131	5,546,663
無形固定資産	12,410	13,443
投資その他の資産		
投資有価証券	583,513	568,357
その他	15,854	20,164
貸倒引当金	△600	△801
投資その他の資産合計	598,768	587,721
固定資産合計	6,164,310	6,147,828
資産合計	13,604,167	14,583,427
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,301,148	3,025,782
短期借入金	950,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	1,615,980	1,769,540
未払法人税等	133,618	164,800
賞与引当金	140,600	141,000
その他	252,459	269,857
流動負債合計	5,393,806	6,170,979
固定負債		
長期借入金	2,538,120	2,544,890
繰延税金負債	97,465	77,027
退職給付引当金	13,237	9,484
環境対策引当金	47	47
資産除去債務	11,512	11,512
その他	14,492	9,254
固定負債合計	2,674,874	2,652,216
負債合計	8,068,681	8,823,195

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343,871	2,343,871
利益剰余金	3,122,091	3,354,949
自己株式	△3,587	△3,596
株主資本合計	5,462,375	5,695,224
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,069	40,502
繰延ヘッジ損益	22,041	24,505
評価・換算差額等合計	73,110	65,007
純資産合計	5,535,486	5,760,232
負債純資産合計	13,604,167	14,583,427

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	6,631,641
売上原価	5,380,411
売上総利益	1,251,230
販売費及び一般管理費	776,078
営業利益	475,151
営業外収益	
受取利息及び配当金	9,916
その他	7,389
営業外収益合計	17,305
営業外費用	
支払利息	9,847
固定資産除却損	5,179
その他	326
営業外費用合計	15,353
経常利益	477,103
特別損失	
貸倒引当金繰入額	201
特別損失合計	201
税引前四半期純利益	476,901
法人税等	130,634
四半期純利益	346,267

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	476,901
減価償却費	149,661
受取利息及び受取配当金	△9,916
支払利息	9,847
売上債権の増減額 (△は増加)	△851,096
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△561,539
前払費用の増減額 (△は増加)	△35,930
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△53,607
仕入債務の増減額 (△は減少)	724,633
割引手形の増減額 (△は減少)	463,736
その他	9,637
小計	322,328
利息及び配当金の受取額	9,916
利息の支払額	△9,955
法人税等の支払額	△117,948
その他	3,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	207,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△89,893
その他	△4,451
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,344
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150,000
長期借入れによる収入	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△839,670
配当金の支払額	△113,409
その他	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,089
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,150
現金及び現金同等物の期首残高	1,674,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,684,230

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。